

1. 件名：「伊方発電所3号機 原子炉容器上部炉心構造物吊り上げ時の制御棒クラスタ引き上がりについて」に係る公開会合に向けた準備について

2. 日時：令和2年1月31日 11時20分～11時40分

3. 場所：原子力規制庁 2階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部検査グループ実用炉監視部門

吉野企画調査官、村上管理官補佐、東原子力規制専門員

四国電力株式会社（以下「四国電力」という。）

原子力本部 原子力部長 他1名

5. 要旨

(1) 原子力規制庁より、令和2年1月15日に実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第134条の規定に基づき報告のあった「伊方発電所第3号機 原子炉容器上部炉心構造物吊り上げ時の制御棒クラスタ引き上がりについて」については、我が国では経験のない事象であり、当該事象の原因及び再発防止対策の検討に時間を要するようであれば、「事故・トラブル事象への対応の進め方について（平成30年5月23日原子力規制委員会資料）」に基づき、これまで判明している事実関係を整理し、事故トラブル公開会合にてそれらを確認する形も考えられることから、資料などの準備を行うよう伝達した。その際、外部電源の受電に関するトラブルなどその他の事象についても、併せて提示するよう伝達した。

(2) 四国電力より、了解した旨回答があった。